

# 2025年度 メリー★ポピンズ 朝霞南ロルーム保育園 事業計画書

## Ⅰ. 基本方針

- 保育理念：「にんげん力、育てます。」
- 保育方針：「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

今年度のメリー★ポピンズ朝霞南ロルームは何事においても運営本部Mission2025の「原点回帰」

- ・初心に戻り1からのスタートのつもりで望んでいく。
- ・日常生活の中に歌を取り入れ歌で会話、表現が出来るようにする。
- ・地域の活動に積極的に参加をして、地域全体から愛される園を目指す。
- ・毎日の日課で仕事と呼ばれている意味をスタッフ全員が理解をして、子どもと共に畑で作物を育てていく
- ・子どもの発達を個々に捉え、発達、個性等に沿った遊びに没頭でき、生きる力を伸ばしていく

### 〈Ⅰ〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	個々の子どもの発達を職員が理解し把握する
	実践予定内容	子どもの発達に関する知識や観察ポイントを研修していく 子どもの姿が深く理解されるための情報を共有する
2	計画・ねらい	子どもが自分からやりたいと思って日課や活動に参加していく
	実践予定内容	個々の発達、個人の意思に合った日課や遊びを実現できるように、物的環境、人的環境を共に整えていく
3	計画・ねらい	日課の意義をスタッフ一人ひとりが理解をし、内容を充実させて保育に生かしていく
	実践予定内容	日課の重要性や実施意味を理解し共有。実践を継続する 子どもたちの発達と組み合わせながら内容も充実させ個々に合わせた日課の実践をしていく

### 〈Ⅱ〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	保護者一人ひとりの様子に寄り添いながら子どもの情報を共有。成長を共に喜び、悩みなどを話す事の出来る関係性を作る
	実践予定内容	保護者が気持ちよく子どもを送迎できるお迎え対応 写真や動画を使って保育内容の共有し、誰もがその場にいたかのような対応が出来るようにする 5S（整理整頓清掃清潔しつけ）を徹底していく
2	計画・ねらい	子どもが成長された姿などが色々なもので共有される
	実践予定内容	お便り・タイムライン・SNS等に掲載する

### 〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	「ちきんえっぐ」を通じて地域の保護者が求めるニーズを理解して園で応えられる最善の支援を行う
	実践予定内容	青空保育、子育て相談会、自然食堂、芸術学校、自然学校、勝手籠設置等

### 〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	一人ひとりが得意な専門性を生かして保育をして学び合う
	実践予定内容	子どもの発達についての知識や学びを共有して、互いに専門性を高め合っていく 社内や社外の研修を積極的に活用して自身の学びを高め、それをスタッフに共有していく
2	計画・ねらい	社会人としての常識を知る
	実践予定内容	保育士の前に社会人としての基本的な接遇、心持等を学び、対応できるようにしていく
3	計画・ねらい	リーダー職員の育成
	実践予定内容	中堅保育者がリーダーシップを発揮して園運営を担っていきけるような指導、環境を作っていく MBOを共有してリーダーが中心となり半期に1回面談をして質の向上を実現していく。

### 〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	持続し循環する環境を知る
	実践予定内容	大人も子どもも一緒に土に触れて畑仕事（耕し・苗植え・水やり・間引き・雑草むしり・収穫）を行い、調理をしたり梅干し、たくあん作り行う
2	計画・ねらい	食育や環境にまつわる活動をしながら食べ残しを減らしていく
	実践予定内容	給食残渣を減らすために個々に合わせた定量の配膳を行うとともに、丁寧な保育を心がけていく
3	計画・ねらい	堆肥作り
	実践予定内容	まずスタッフが堆肥作りについて学び、調理で出た廃棄食材などを利用して子どもと一緒に用意、作成していく

### 〈6〉1つのチームとしてのメリー★ポピンズ朝霞南ロルーム

1	計画・ねらい	一人ひとりのスタッフの考え方、見方、捉え方を1つにしてチームとする
	実践予定内容	スタッフの得意な所、良い所、得意分野を共有できる場を作り、一人ひとりに合った内容での職務を分配していく
2	計画・ねらい	チャレンジしていく気持ちを大切に
	実践予定内容	自分の思いを伝えて周囲を巻き込んでの挑戦していく

## 2. 施設運営

### 〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	6人	6人	0人	0人	0人	18人

### 〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

### 〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	4人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	1人
	再雇用スタッフ	0人	言語聴覚士	0人	臨床心理士	0人	※適宜追加・削除	0人
パート スタッフ	保育士	2人	補助	0人	調理	0人	事務	0人
	用務	0人	看護師	1人				

## 3. 運営方針

### 〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	保育の振り返り、及び次月に向けての意見交換 研修報告、園内研修
給食運営会議	月1回	喫食状況報告、アレルギー児確認・対応、食育計画確認、
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット、インシデント、事故報告の共有 必要な事案を用意して検討し日々に生かす
ケース会議	月1回	発達に特性がある子どもについての情報共有、支援計画の 振り返り

## 〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	法人内統一の議案共有・意見交換・運営状況報告
施設長勉強会	月1回	保育における共通テーマについての検討・意見交換
食育会議	年4回	給食提供および食育、献立に係る検討、各種マニュアルの改訂
保健会議	年4回	園全体の保健に係る検討、各種マニュアルの改訂
子育ての質を上げる会議	月1回	保育内容の質の向上に関わる学習、意見交換

## 〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	清掃指導と衛生管理、感染予防・拡大防止策の実施 園児の健康管理と保護者への発信
安全対策係	避難訓練・不審者侵入訓練の実施、設備点検・事故防止点検の実施 ハザードマップの見直しと更新
防火管理者	消防計画の作成、これに基づき避難訓練の定期的実施
食品衛生責任者	食材発注および給食提供食材の衛生管理と在庫管理
畑係	畑の計画・管理、用具類の管理及び補充
生き物係	生き物・植物の世話の計画、管理
備品発注係	消耗品・事務用品保育材料の購入、管理

## 〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	祭りの企画・運営、地域への広報

## 4. 保育方針

### 〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	ゆったりとした関りの中で、子ども一人ひとりの気持ちや意欲を尊重し、健やかな発達を促す
	下半期 0～2歳児	安心できる大人との関りの中で、人に対する信頼感、愛着関係を形成し自己肯定感を育む
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・ 随時、希望する保護者に対し実施 ・ 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・ 連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月28日と11月29日に実施予定

### 〈2〉年間行事計画

- ・ 2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・ 保育参加・保護者面談は随時開催

### 〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	活動でたくさん遊び食欲を高める
	実践予定内容	多くの時間を戸外活動に使いたくさん体を動かして空腹にして食に臨む
2	計画・ねらい	食の循環に触れて食べることの大切さを知る
	実践予定内容	子どもと大人が協働して野菜の栽培や下処理、堆肥作り等食す以外の食育活動をして食べる意欲を高めていく
3	計画・ねらい	給食の時間を楽しい・落ち着く・満足の時間にする
	実践予定内容	友人やスタッフ、調理士と一緒に食事を取り、好きな人、場所で食し、充実感を得られるようにする。

### 〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・10月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回

スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い指導、歯磨き指導、咳エチケット
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 6月～8月頃・・・手足口病・プール熱 12月～2月頃・・・溶連菌・インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアアップ・・・0名
エピペン使用できるスタッフ	本日現在9名が、研修受講し、修得済み
AED使用できるスタッフ （AED設置施設のみ）	本日現在9名が、研修受講し、修得済み
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

### 〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日

	児童健康診断	内科健診 年2回／7・10月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

## 〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	整理整頓・清掃清潔
	実践予定内容	5Sを知る研修を行い共通理解が出来るようにしていく
2	計画・ねらい	室内の環境設定
	実践予定内容	子どもの発達に合わせて玩具の配置、興味が引くようになる玩具の設置をしていく 選べるような選択肢の多い環境を作る

## 〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	棚	保育室	毎日

## 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	防災対策	危機管理マニュアルの災害対策に則り月1回の避難訓練を行い火災・自身等の避難方法を確認。
2	事故防止	危機管理マニュアルのケガ・事故の防止策に則り、ケガ発生時には対応フローチャートに従う。ハザードマップを作成し年4回更新し事故防止に努めていく。毎月の事故防止委員会で事故記録簿・インシデント・ヒヤリハットの共有・分析、防止策を検討し再発防止に努める。
3	防犯対策	年2回不審者侵入訓練を実施し不審者侵入時にはフローチャートに従う
4	光化学スモッグ	危機管理マニュアルの光化学スモッグ対策に則り、光化学スモッグの知識を身につけ、注意報発令の把握をしながら発生時には、光化学スモッグ発生時対応及び行政連絡に従い対応する。

## 6. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉今年度方針・テーマ

実習生・中高生の職場体験・交流などの受け入れは、次世代育成・地域貢献のため積極的に行い生徒一人ひとりの様子に合わせて保育・子育てで大切な事、大事にしてほしいことなど具体的に理解しやすいように伝え、援助や指導を行う。

保育の楽しさや魅力を伝えるように配慮し、保育の魅力を感じてもらうようにする。

1	中高生	朝霞第一中学校1年生を受け入れ予定
2	実践予定内容	保育体験、子どもとの接し方の指導。等

## 7. スタッフ育成と研修計画

### 〈1〉2025年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月25日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 危機管理研修 ③ 人権チェック・虐待防止研修	スタッフ間でハザードマップの見直し、ルートの検証、対策
5月23日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 環境構成 ③ タイムラインについて	梅雨に向けての環境の見直し 園長大学：スマホで十分撮影テクニック視聴、ディスカッション
6月27日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 危機管理研修	園長大学：水難事故視聴、その後ディスカッション
7月25日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 危機管理研修	園長大学：応急手当第5話を視聴 その後ディスカッション
8月22日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 危機管理研修	他園事故記録簿を見て検証
9月26日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 振り返り研修	エピソードの共有とディスカッション
10月24日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 危機管理研修 ③ 人権チェック・虐待防止研修	スタッフ間でハザードマップの見直し、ルートの検証、対策
11月28日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点	園長大学：SIDSの家族視聴、その後



		② 危機管理研修	ディスカッション
12月26日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 振り返り研修 ③ 危機管理研修	自園の現状を把握、今後についてのディスカッション 感染症対応、ロールプレイ
1月23日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 環境構成	園長大学：心を育てる保育環境視聴 その後ディスカッション
2月27日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議1回目	次年度事業計画に対する目標設定
3月27日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議2回目	年間行事計画の作成 畝作り研修

## 〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

## 〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月～11月までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デスマークインターンシップ	希望するスタッフが応募											

## 〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

## 8. 地域交流計画

### 〈1〉今年度方針・テーマ

積極的に園外に出かけ、地域の人々と様々な関わりを経験し、また、地域からも関心を持ってもらえるような発信しそれをもとに地域との関わりを深めていける計画を実施する

### 〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細
どろんこ祭り	年1回      集客目標：80名
青空保育（保育園主催）	月1回      公園名：あかね公園にて      集客目標：20名
商店街ツアー	週1回
世代間交流	老人訪問、中高生の職場体験学習の受け入れ
異年齢交流	他園交流・小中学校生徒との交流
地域拠点活動	ちきんえっぐ・地域行事への参加

## 9. 小学校との連携の計画

該当なし

## 10. 要支援児計画

### 〈1〉個別支援計画の作成・見直し

支援が必要な子どもについては個別に保育計画を作成。家庭や連携機関と情報交換を密にして一人ひとりに応じた保育を行い、自らの育つ力を伸ばしていけるように支援する

### 〈2〉毎月のケース会議開催

（4～3月に計12回開催予定    参加者：9名予定）

毎月1回年間12回開催予定

日々変化していく子どもの様子を記録し職員全員での共通理解を図る。どの職員でも同じ対応でかわる

### 〈3〉進級引継、および、小学校への引継

仲町どろんこ保育園と引継ぎ連携をしていく

## 1.1. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(金) 9:30～16:30 集客目標：12名
子育て相談	(月)～(金) 13:00～16:30 集客目標：12名
自然食堂…親子ランチ交流	毎月2回 10:00～12:00 集客目標：48名
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎月1回 10:00～12:00 集客目標：24名
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～19:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育（支援センター主催）	月1回 公園名：あかね公園にて開催 集客目標：20名

## 1.2. 園運営の向上

### 〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

### 〈2〉園による自己評価の実施

2025年6月に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：9時00分

自己評価終了予定時刻：16時00分

自己評価実施予定者：施設長、全職員

### 〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

## 1.3. 3カ年計画の具体化

### 〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	職員自身の学びを含め、大人の主体性・発信力を磨く 共に育ち育て合う。子どもの成長を保護者と一緒になり喜び合える園となる
	振り返り	職員が全員キャリアアップの講習を3つは受講できそれを園会議の時に

		学びを共有できた。受講したことで少し自信もついたのか共有時は多く伝えることが出来ていた。その他にも外部の研修を受けその学びを職員間に伝えることもしていた。
--	--	---

## 〈2〉当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	職員が子どもの発達を個々に捉え、発達と個性と意思に沿った遊びに没頭する中で、子どもが生きる力を伸ばせている。 保育者は心理的安全性を大切にしたコミュニケーションが出来ている。
	重点施策	子ども中心が当たり前と思える保育を定着させていく 子どもが大人に見守られながら挑戦をし続けられる環境を整えていく 誰にでも何でも言えるような関係性が出来るようにしていく
2026年度	目指す姿	子どもの発達と感情に寄り添う人的環境のもと、自己決定が尊重され自己肯定感が満たされている。 職員間で保育の方針が共通理解され業務が適切に行われるようになる また、子どもも大人もなんでも挑戦できる雰囲気になる
	重点施策	業務の細分化、仕組みづくりとその確認 保育の知識と保育方針の共通理解を行える場作り
2027年度	目指す姿	子どもの発達に沿った適切な環境が整っていて子ども自身が考えて行動している。 子どもも大人もやってみたいが現実になっている 目指す保育の姿が職員の中で共有されていて自らが考えて最善の行動が出来るようになっている。
	重点施策	子どもの様子、姿等の共有が出来る場所を作る 子どもが大人に見守られながら挑戦を続けられる環境を作る 業務における仕組みの改善

以上

作成日：2025年3月15日      作成者：メリー★ポピンズ朝霞南口ルーム      施設長 真邊 敦